

令和元年度走水会総会議事録

1 日 時

令和元年 7 月 28 日（日）

ファミリーセーリング：0935～1040

総 会：1115～1210

懇 親 会：1230～1440

2 場 所

ファミリーセーリング：浦賀沖海面

総 会：シティマリーナ・ヴェラシス 2 階会議室
（横須賀市西浦賀 4-11-5）

懇 親 会：シティマリーナ・ヴェラシス 1 階テラス

3 参加者

ファミリーセーリング：会員、家族 28 名

総 会：走水会会員 35 名（内訳：正会員 31 名、特別会員 4 名）

懇 親 会：90 名（内訳：正会員等 35 名、特別会員・同伴者 22 名、幼児 8 名、学生 26 名）

4 ファミリーセーリング

前夜関東北部を通過した台風 6 号から変わった熱帯低気圧の影響が心配されたが、薄曇り、南風、微風で、沖合は多少うねりがあったものの、予定通り「碧砂」以下 4 艇でファミリークルージングを実施した。

0920～0945 に逐次出港して約 1 時間浦賀沖において帆走を実施し、1030～1040 に全艇とも無事着艇した。船酔いした幼児もいたが、乗艇した会員・家族の皆さんは満足したようであった。

5 総会の議事内容

(1) 開会挨拶（村田会長）

(2) 総会の成立要件の確認（松田理事長）

走水会会則に基づき、正会員の総会出席者 31 名、総会案内に対する議長委任者 31 名、同未回答（議長委任扱い）210 名、計 272 名の出席・委任があり、総会成立要件の母数となる正会員数 3 分の 1 である 134 名を越えることから、本総会は成立する。



総会の状況



総会の状況

(3) 第 1 号議案（松田理事長）

平成 30 年度事業報告を添付書類のとおり行い、承認された。

(4) 第 2 号議案（松田理事長、平山監査役）

平成 30 年度収支決算報告及び会計監査報告を添付書類のとおり行い、承認された。

(5) 第 3 号議案（松田理事長）

令和元年度事業計画の説明を添付書類のとおり行い、承認された。

(6) 第 4 号議案（松田理事長）

令和元年度予算計画の説明を添付書類のとおり行い、承認された。

(7) 第 5 号議案（松田理事長）

走水会会則の改定（顧問の設置）についての説明を添付書類のとおり行い、下記の質問があった。

①相田会員：「委嘱機関 1 年は他の役員と比して短いのではないか。」

②田中会員：「再任を妨げないと記載するのも良いのではないか。」

これらに対して、「明文化してはいないが、顧問には役員の規定（11 条）が適用されないの、再任は何回でも可能なこと等から、原案のままとしてほしい。」と説明し、原案のとおりで承認された。

(8) 第 6 号議案（松田理事長）

役員の選任について、総会承認役員である会長に 22 期（陸）久納会員、副会長に 23 期（陸）香月会員と 23 期（空）清藤会員、監査役に 17 期（陸）村田会員の選任が承認された。

また、会長委嘱役員等について、新任 3 名を含む香月理事長以下理事 10 名、地方理事 4 名への委嘱を紹介するとともに、新設した顧問については平山会員に委嘱することで承認された。

(9) 連絡事項

ア ヨット部指導体制について（河上ヨット部長）

7 月 1 日付でヨット部長に就任した河上 1 海佐から以下のとおり紹介があった。

部長 : 河上康博 (1 海佐、国防論教育室長)
 副部長 : 藤原浩幸 (准教授、機械工学科)
 顧問 : 香月 智 (副校長、建設環境工学科)
 顧問 : 黒崎将広 (准教授、国際関係論学科)
 顧問 : 鈴木雅博 (2 海佐、国防論)
 顧問 : 山口雄史 (3 海佐、訓練部海上企画係長)
 クルーザー顧問 : 中嶋 厚 (三菱電機)
 クルーザー顧問 : 市川邦夫 (グローバルコム)
 クルーザー顧問 : 徳田道之 (3 海佐、統率戦史)
 クルーザー顧問 : 出口紋子 (1 陸尉、143 小隊)
 クルーザー顧問 : 酒井汐美 (佐倉市役所)
 クルーザー監督 : 岩長正幸 (3 海佐、4 X 中隊)
 小型顧問 : 佐藤俊也 (京濱港湾)
 小型顧問 : 東郷宏重 (田中貴金属)
 小型顧問 : 畑山絵里 (S P ネットワーク)
 小型顧問 : 野田教浩 (3 海佐、学生課外活動係)
 小型監督 : 田中祐紀 (2 海尉、訓練部長副官)
 顧問 : 井福青一 (2 海曹、訓練部海上企画)
 顧問 : 中村章夫 (2 海曹、訓練部第 1 大隊)
 顧問 : 佐藤祐一郎 (3 海曹、訓練部第 2 大隊)
 O B 顧問 : 宮崎 聖 (海洋サービス)

イ 現役活動状況について

田中小型監督及び岩長クルーザー監督から、添付書類のとおり説明があった。

ヨット部 H P 開設についての質疑応答の中で、「H P 作成支援ソフト」が必要との現状説明があり、走水会として購入支援の可否を検討することとなった。

ウ その他

(ア) クルーザー「レッドシャーク」について

正木会員 (5 期海) から、サニーサイドマリーナ (ヴェラシス対岸) において、30ft クルーザー「レッドシャーク」を使用して土日に子供たちにセーリングを教えているが、平日に使ってくれる会員はいないかとの依頼があり、森田会員 (15 期海) が窓口となるとの紹介があった。

(イ) 走水会 H P について

山下理事から、防衛大学校同窓会 H P のコミュニティサイト (校友会 O B 会) にヨット部 O B 会 (走水会) H P を立ち上げて総会のお知らせや諸報告等を掲載しているので、活用してほしいと紹介した。

(10) 新旧会長挨拶

村田会長から退任にあたって4年間しっかりと活動ができたことへの会員、理事への感謝を含めた挨拶があった。

久納新会長からは、今後ともこれまで同様会員の協力を得て、現役学生の活動を支援していきたいとの挨拶があった。

6 懇親会（BBQ）

台風一過の夏空の下、ヴェラシス1階テラスで現役学生（小型13名、クルーザー13名）を含め総勢90名で実施した。

途中、久納新会長から走水会からの支援金を小型とクルーザーの各主将に贈呈した。



懇談する村田前会長



学生を激励する久納新会長



米良クルーザー主将に支援金を贈呈



岡本小型主将に支援金を贈呈

添付書類：令和元年度走水会総会配布資料(R1.7.28)